

R I M A G E[®]

Rimage Professional™ 2450
ユーザーガイド ディスク



Rimage Corporation

201 General Mills Boulevard North
Golden Valley, Minnesota 55439, USA
フリーダイヤル: +1-(800) 445-8288

Rimage Europe GmbH

Wernher-von-Braun Straße 9
63303 Dreieich-Offenthal,
GERMANY
電話: +49-(0) 6074-8521-0

リマージュジャパン株式会社

〒105 - 0013 東京都港区浜松町
2丁目7番1号第38荒井ビル4階
電話: +81-(3) 6452-8780

Rimage Taiwan

2F.-7, No. 508, Sec. 5,
Zhongxiao East Road., Xinyi Dist.,
Taipei City 110, TAIWAN
電話: +886-(2) 2726-0100

**Rimage Information
Technology (Shanghai)
Co., Ltd.**

RM # 206, 207, 2F
No.1 FuXing Zhong Road
HuangPu District
Shanghai, 200025 CHINA
電話: +86-(21) 5887-8905

Rimage Corporation は、本書に記載されている機器およびソフトウェアを予告なしに改訂する権利を所有しています。Rimage Corporation は、あらゆる個人または組織に通知する義務なく、本書を改訂または記載内容を随時改訂する権利を所有します。

本書には、発行時に有効であった Web サイトへのリンクが含まれていますが、現在そのサイトが移動している、または無効である場合があります。本書には、第三者によって所有および運営されているインターネット上のサイトへのリンクが記載されている場合もあります。Rimage Corporation は、第三者のサイトの内容に関しては、責任を負いかねます。

© 2020, Rimage Corporation

Rimage®は、Rimage Corporation の商標です。Professional™ および Everest™ は、Rimage Corporation の商標です。Windows® は Microsoft Corporation の登録商標です。

他のすべての商標および登録商標は、それぞれの所有者の財産です。

本ドキュメントの最新版は rimage.com/support から入手できます。

目次

Rimage Professional™ 2450 ユーザーガイド	1	印刷環境設定	11
Rimageについて	2	印刷環境へのアクセス	11.1
目次	3	リボン設定の変更	11.2
序論	4	プリント品質設定の変更	11.3
本ユーザーガイドについて	4.1	印刷可能範囲と印刷アラインメント	12
Professional 2450について	4.2	印刷可能範囲の設定	12.1
アクセサリキット	4.3	印刷アラインメントの調整	12.2
開梱及びセットアップインストラクション	4.4	2450のメンテナンス	13
Professional 2450のパーツ	5	メンテナンスの重要性	13.1
状態表示ランプとコントロールパネル	6	予防的なメンテナンスのスケジュール	13.2
状態表示ランプ	6.1	粘着ローラークリーニング	14
コントロールパネル	6.2	粘着ローラークリーニング 1	14.1
はじめに	7	粘着ローラークリーニング (続き)	15
システムの電源オン	7.1	粘着ローラークリーニング 2	15.1
ePS 設定サイクル	7.2	センサーのクリーニング	16
ビン設定、ローディング、レーベル作成	8	センサーのクリーニング	16.1
ビン設定の変更	8.1	フィルターのメンテナンス	17
ディスクのローディング	8.2	フィルターのクリーニング	17.1
ビンレベルの更新	8.3	連絡先情報	18
新規ラベルの政策	8.4	サポート連絡先情報	18.1
ディスク生産	9	オンラインの詳細	18.2
ディスクを焼く	9.1	テクニカルサポート	18.3
オートローダーを停止して、メディアを追加	9.2	光学ディスクレコードソフトの免責事項	18.4
ディスクのロード解除	9.3	注意事項と警告	19
システムの電源オフ	9.4	国特有の注意事項と警告	20
名前の表示と警報機設定	10	コンプライアンス情報	21
オートローダーの表示名変更	10.1		
警報機の有効化	10.2		

概要

本マニュアルは、Rimage Professional 2450 システムの設定、操作、メンテナンスに必要な情報を説明しています。本マニュアルで、「システム」および「オートローダー」という言葉は 2450 システムを指すものとします。「プリンタ」という言葉は統合された Everest 400 プリンタを指すものとします。

技術面に関する情報については、rimage.com/support で『Rimage Professional 2450 の仕様』を参照してください。

重要: お使いの Rimage Professional 2450 システムは、本ユーザー ガイドに記載されたモデルとは外観が異なる場合があります。

4.1: 本ユーザー ガイドについて

- 当社ではすべてのバージョンのマニュアルおよびほかの説明書を保存するように努めていますが、当社ウェブサイトで見られる英語バージョンでは常に最新の情報を提供しています。
- 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションのインストラクションは Windows 10 のパスを示しています。ほかの Windows のバージョンでは異なる可能性があります。

本マニュアルでは、情報のタイプに応じて以下の記号が使用されています。

ヒント: 「ヒント」には、明らかではない代替方法が提案され、製品の利点と能力についての理解を助けます。

重要: 重要な情報はタスク完了に必要な情報や、そのほかの重要な必要情報を含みません。

注意: 「注意」には、このガイドラインの順守を怠ると、機器または製品、ソフトウェア、データに損失または損傷が生じる恐れがある注意事項が示されます。

警告! 「警告!」は、記載されたガイドラインの順守を怠る場合、機器の操作または保守の担当者に身体的傷害が生じる恐れがあることを示します。

4.2: Professional 2450 について

2450 は、Rimage Professional シリーズ製品のひとつです。2450 システムは、2450 オートローダと統合された Everest 400 プリンタで構成されています。統合された Everest 400 プリンターに関する情報は本マニュアルに記載されています。

2450 システムには、外付け PC を併せて使用します。光学ハードウェアと OS が 2450 に最低限必要とする情報に関しては、rimage.com/support で *Minimum PC の最低限の仕様書* を参照してください。

4.3: アクセサリーキット

Professional 2450 に同梱されているアクセサリー キットには、次が含まれています。

- Rimage® Professional 2450 セットアップおよびインストール ガイド
- Rimage Professional 2450 ユーザーガイド (本文書) ディスク
- Rimage Software Suite のディスク ホルダ
- Rimage 製品保証規定
- NEMA 5-15P 電源ケーブル (北米)
- CEE 7/16 電源ケーブル (ヨーロッパ)
- USB ケーブル
- エア フィルタ4つ

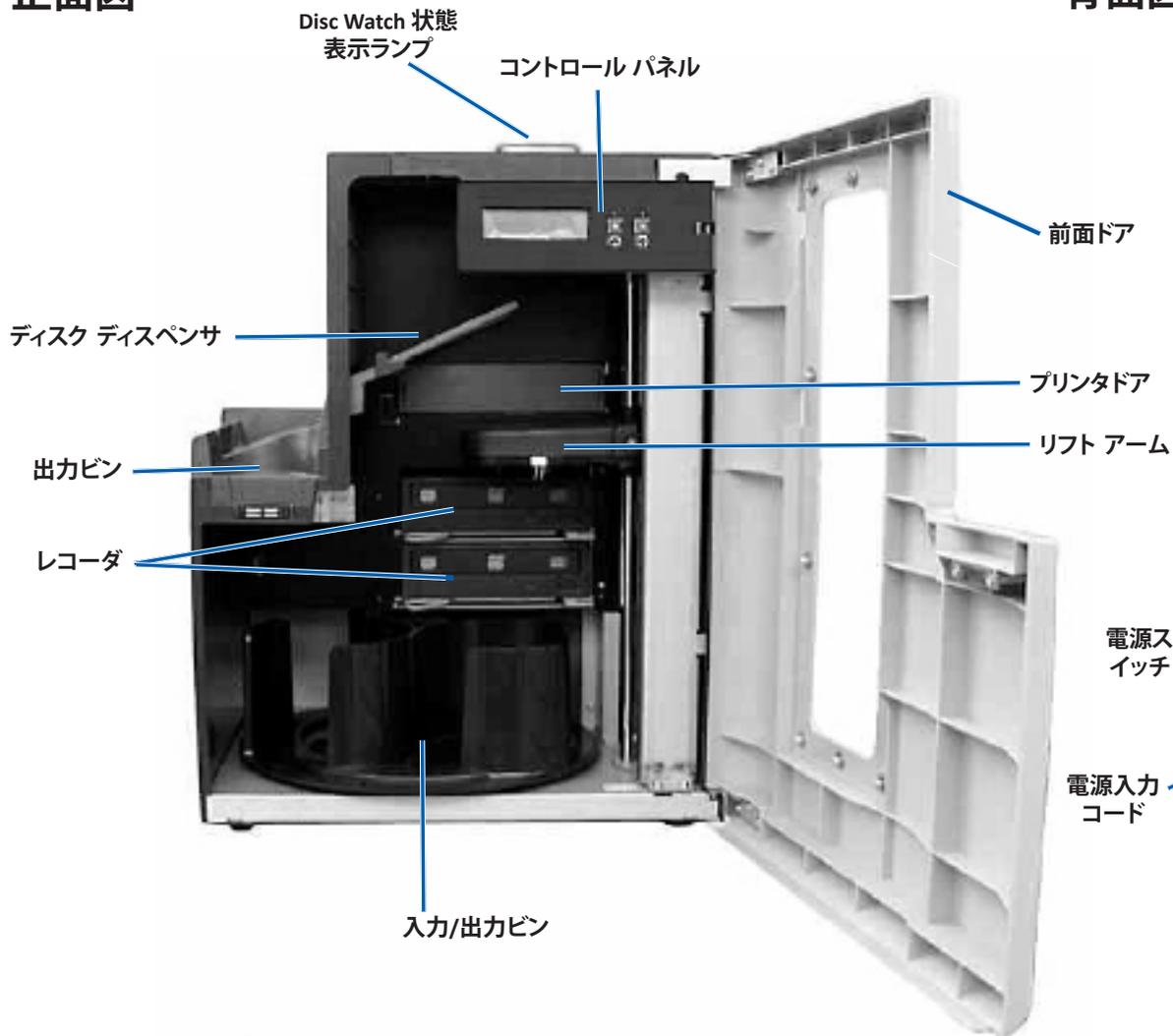
4.4: 開梱およびセットアップ取扱説明書

Professional 2450 を開梱するには、梱包箱に貼付の開梱法についてのラベルを参照してください。設定の指示については、製品に同梱されている『*Setup and Installation Guide (設定とインストールのガイド)*』を参照してください。

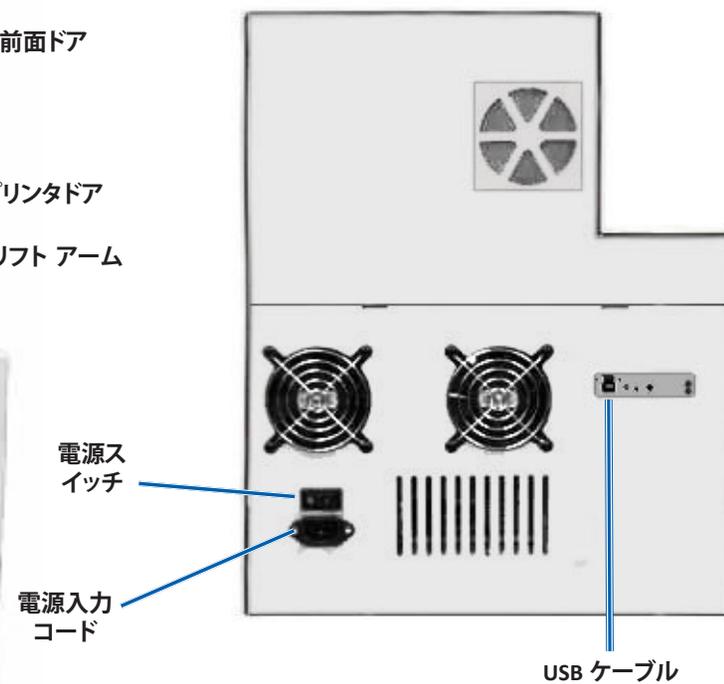
Professional 2450 の各部の確認

本セクションでは、2450 システムのハードウェアおよび機能について説明します。

正面図



背面図



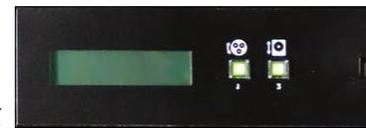
状態表示ランプとコントロールパネル

6.1: 状態表示ランプ

Professional 2450 には、さまざまな状態を表示する内蔵の状態表示ランプが装備されています。下表で、状態表示ランプの状態が示され、各状態によって示される状態が説明されています。

ランプの状態	システムの状態
	緑色ライト点灯 システムは正常に動作しています。現在、処理中のジョブはありません。
	緑色ライト点滅 システムは正常に動作しています。現在、ジョブの処理中です。
	黄色ランプ点灯 オートローダーは、待機中もしくはソフトウェアの起動しています。コントロールセンターが起動されていない場合は、コントロールセンターの電源をオンにしてください。オートローダーとコントロールセンターのケーブルの接続をチェックしてください。
	黄色ランプ点滅 前面ドアが開いています。前面ドアを閉めて、ジョブを進行させます。
	赤色ランプ点灯 赤色のランプがついたら問題が複数発生しています。よくある問題の一例としては以下の通りです： <ul style="list-style-type: none"> 回転トレイのブランク ディスクがなくなっています。 システム エラーで、オペレータの操作が必要です。 初期設定で発生するプリンターやレコーダーのエラー。 これらの、その他の赤色システムの条件を決定するには、クライアントのワークステーションもしくはメッセージのコントロールセンターをチェックしてください。

6.2: コントロール パネル



コントロールパネルは、2450 の正面に設置されており、オペレータ パネル、トレイ回転ボタン (ボタン 1)、プリンター トレイ ボタン (ボタン 2)が含まれます。以下の表はコントロールパネルの全部分の名前と機能を指定しています。

重要: オートローダーのフロントドアを開いて、コントロールパネルにアクセスする必要があります。

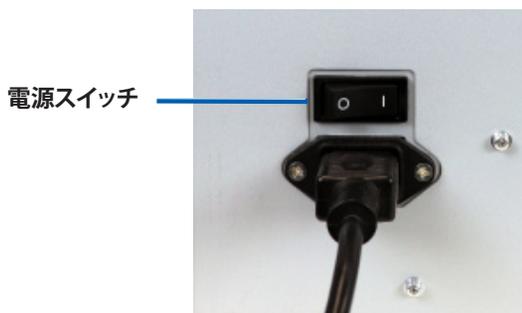
名前	機能
オペレータ パネル	オペレータ パネルは、オペレータの介入を必要とする操作または条件を知らせる、2 行のディスプレイが付いています。これには消費状態を含みます。そのほかのオプションと設定は、10ページの表示名と警報機設定欄を参照してください。
回転トレイボタン (ボタン 1) 	トレイ回転ボタンは、以下の作業を行う際に使用します。 <ul style="list-style-type: none"> 回転させてピンを移動し、ディスクの装着/取り外しを行うことができます。回転ボタンを 1 回押すと、回転トレイは次のピンまで回転します。 診断テスト モードを開始します。システムに同梱のディスクに収録されているドキュメントの『診断テストの指示』を参照してください。
プリンター トレイ ボタン (ボタン 2) 	プリンター トレイ のボタンを押して： <ul style="list-style-type: none"> プリンタートレイを開閉 エラー後のリセット
プリンター表示ランプ (プリンター トレイボタンにあります)	プリンターの電源が入り、初期化が完了したら、プリンター表示ランプが光ります。プリンター表示ランプも、400プリンタがホストからデータを受け取ると点滅します。
回転ランプ (回転トレイボタンにあります)	トレイが回転する際に回転ランプが点滅します。回転ランプも、オートローダーがホストからデータを受け取ると点滅します。

はじめに

この章ではセットアップと設置後の基礎システムの使用に関するインストラクションを提供しています。セットアップと設置を完了できない場合、まずは rimage.com/support でセットアップと設置ガイドを参照してください。加えて次のページではディスクの生成に必要な情報を見ていきます。ほとんどのRimage Software Suiteのヘルプファイルを参照して、独特の必要条件とワークフローに合致する追加機能の詳細をみてください。

7.1: システムの電源オン

1. オートローダー背面にある電源スイッチを押して、システムおよび統合されたプリンタの電源をオンにします。



7.2: 生産サーバー設定サイクル

生産のための準備前の、設定サイクルでProfessional 2450を実行する必要があります。こういったことを発生させるには、2450オートローダーの電源を入れてRimage Software SuiteがインストールされたクライアントPCに接続する必要があります。これが適切に行われれば、Production Serverは自動的に設定プロセスを開始するはずですが、これが発生しない場合、Rimage System Managerを開き、Rimage Systemsの左下の適切なシステムを右クリックし、[Stop (停止)]を選択して[Yes (はい)]をクリックして確定する必要があります。そして、五秒間ほど待ってからシステム上で右クリックして、[Resume (提出)]を選択します。

全設定サイクルを許可して、中断しないようにします。この作業には四分しかかかりません。この時間幅で、2450では次を行います:

1. ファームウェアのバージョンはコントロールパネルに表示され、状態表示ランプは緑から赤や黄色になります。黄色のままになったら、設定のリマインドを表します。Rimage System Managerを開いている場合、設定サイクルの手順としてシステム情報のアップデートも確認します。
2. Everest 400は初期的プロセスを開始します。
3. リフトアームは中間的なポジションに動き、ビントレイはビン1まで回転します。
4. リフトアームが下降し、レコーダートレイのいずれかが出され、リフトアームがトレイを3回押します。ディスクがある場合、リフトアームがディスクを持ち上げて離します。これと同じプロセスは残りのレコーダーのために発生します。
5. プリントトレイが出され、リフトアームが下がり、トレイを1回押します。ディスクがある場合、リフトアームがディスクを持ち上げて離します。
6. 次に、リフトアームがビン1、2、および3に下降し、トレイが番号順に各ビンに対して回転します。ディスクがある場合、リフトアームがディスクを持ち上げて離します。各ビンのディスク数は、コントロールパネルのディスプレイでも更新されます。
7. 最後に、リフトアームが再び中央に移動し、状態表示ランプが緑色に変わります。これは、2450が生産可能な状態になっていることを示しています。

ビン設定、ローディング、レーベル作成

8.1: ビンの設定を変更

Rimage ソフトウェアを使用すると、各メディアのメディアタイプを特定して、ビンを入力、出力、却下、予約、照合、不使用に指定できます。

1. デスクトップにある *Rimage System Manager* のショートカットをダブルクリックしてください。
2. *Rimage System Manager* のメディアの章にある *Configure Bins (設定ビン)...* ボタンをクリックします。
3. メディアタイプ (CD/DVD/Blu-ray) を一つだけ選択する場合、そのメディアタイプを選択し、必要に応じたビンを選択してください。
4. マルチメディアタイプを使用する場合、メディアタイプとして、コンビネーションを選択し、必要に応じてビンの目的地を設定します。
5. *OK* をクリックします。

ヒント: ビンの変更は選択設定の変更をする可能性があります。例えば、ビン 2 が DVD をインプットするように設定している場合、DVD ジョブはビン 1 のシステムデフォルトの代わりにビン 2 から直接引き出されます。競合した DVD は、選択した出力ビンに保管されます。正常に完了しなかった場合は、拒否するために選択したビンに保管されます。

8.2: ディスクの装着

ディスクは 1 つのビンに 50 枚まで装着できます。各ビンにディスクを装着するには以下の手順を使用してください。

1. 前面ドアを開きます。
2. 必要に応じてトレイ回転ボタンを押して回転トレイを目的のビンまで回転させます。
3. 必要な種類と枚数のディスクを追加し、記録面が下になるように置きます。
4. 目的のビンが一杯になるまで、ステップ 2 から 3 を繰り返します。
5. 前面ドアを閉めます。

8.3: ビンレベルの更新

Refresh Bins (ビンの更新) を選択すると、各ビンのメディアの量が再同期され、コントロールパネルのディスプレイと *Rimage System Manager* に適切に表示されます。これは、起動後に 1 つ以上のビンにメディアを追加した後に行う必要があります。リフトアームが新しい量を決定するまで、システムは更新された数量を登録できないため、レベルが更新されるまで、ビンの品質として "?? ?? ??" が表示されます。

1. ビンレベルの更新には、デスクトップにある *Rimage System Manager* のショートカットをダブルクリックしてください。
2. *Rimage System Manager* のメディアの章にある [*Refresh Bins (ビンの更新)...*] ボタンをクリックします。
3. *OK* をクリックします。

重要: ビンレベルの更新インストラクションに従ったのちに、リフトアームがメディアを再カウントしていない場合は、ディスクトレイを手動で少なくとも 4 分の 1 回転させて、上記の手順 2 と 3 を繰り返す必要があります。

8.4: 新規ラベル作成

1. デスクトップの *CD Designer [(CD デザイナー)]* ショートカットをダブルクリックします。
2. [*Start a new CD Designer document (CD デザイナー文書の新規作成を開始)...*] をクリックします
3. *Blank Template (空白のテンプレート)* を使用して [*Next (次へ)*] をクリックします。
4. デフォルトのプリンター設定を保持して、 [*Next (次へ)*] をクリックします。
5. 必要性およびディスクタイプに応じて、 [*Full Surface (全面)*] または [*Standard (標準)*] を選択し、 [*Next (次へ)*] をクリックします。
6. 次の背景機能から選択します。
 - *Color (カラー)* : これにより、背景として塗りつぶしの色を使用できます
 - *Picture (画像)* : これにより、画像を背景として使用できます
 - *Template Image (テンプレートイメージ)* : これにより、完成したデザインの設定イメージを使用し、フォアグラウンドでイメージとテキストを操作して、そのセットイメージに合わせるすることができます。

ディスク生産

9.1: ディスクを焼くには

1. デスクトップのQuickDiscショートカットをダブルクリックします。
2. QuickStartメニューから必要なメディアタイプ(CD、DVD、Blu-Rayなど)を選択します

ヒント: ディスク プロジェクトのメディア タイプは、供給ビンに入れたメディアと同じであることが必要です。メディアタイプとビン設定を変更して、各入力ビンに入れたメディアと一致させるには、8ページに戻って参照してください。

3. 適切なデータオプションを選択します。
 - データディスクの場合は、装着されたメディアに従ってファイルとフォルダーを含む[データCD/DVD/ブルーレイCD/DVD/ディスクの作成]を選択します。
 - メディアの場合は、ロードされたメディアに従って[オーディオCD/ビデオDVD/ビデオブルーレイディスクの作成]を選択します。
 - 既存のディスクをコピーするには、ロードされたメディアに応じて[CD/DVD/ブルーレイディスクのコピー]を選択します。
 - その他のオプションについては、QuickDiscヘルプメニューを参照してください。
4. [Add Content (コンテンツの追加)]ダイアログボックスが開いたら、[Add (追加)]ボタンをクリックして、ディスクに書き込むデータまたはメディアを見つけて選択します。
5. ディスクに追加するフォルダまたはファイルをハイライトし、[Add (追加)]を選択します。ファイルおよびフォルダを追加すると、[Disc Size (ディスク サイズ)]と[Free Space (空き容量)]の数値が更新されます。
6. 必要なファイルおよびフォルダの追加が終了したら、[Done (終了)]を選択します。
7. [Next (次へ)]アイコンをクリックします。
8. 次のウィンドウで[Choose (選択)]をクリックして適切なラベルテンプレートを選択し、必要に応じてファイルを[ラベルプレビュー]ウィンドウにドラッグ&ドロップします。[Next (次へ)]をクリックします。
9. 次にコピーの数を、必要に応じてディスクのタイトルを選択し、[Record (記録)]アイコンをクリックします。

ヒント: 制作用にジョブを提出したら、ダイアログボックスがポップアップしてプロジェクトを保存するか尋ねます。そうすることで、前のすべての手順を実行せずに、将来同じところからで同じジョブを再送信できます。

9.2: オートローダーを一時停止してメディアを追加

システムを一時停止して、トレイにディスクを追加します。

1. 前面ドアを開きます。制作が一時停止し、ディスクを追加できるようになります。
2. フロントドアを閉じると制作が再開します。

9.3: ディスクのロードを解除

1. 前面ドアを開きます。
2. トレイ回転ボタンを押して、アクセスできる位置まで必要なビンを回転させます。
3. ディスクをビンから取り出します。
4. 完了したディスクが削除されるまで、手順2~3を繰り返します。
5. 前面ドアを閉めます。

9.4: システムの電源オフ

1. 開いているすべてのアプリケーションを閉じます。
2. システム背面にあるメインの電源スイッチを押して、システムおよび統合されたプリンタの電源をオフにします。

重要: プリンタを 30 分以上使用しない場合、自動的にスリープモードに替わります。スリープモードに切り替わると、ジョブが送られた後プリンタのウォームアップに最大で 4 分かかります。

名前の表示と警報機設定

Rimage Software には、表示名の変更および警報器の有効化を行うための Gemini ユーティリティというアプリケーションが含まれています。 Gemini ユーティリティはRimage Software Suiteの一部であり、システムに直接接続されたコンピュータで実行する必要があります。

ヒント: 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 10 のパスを示していますほかのWindowsのバージョンでは異なる可能性があります。

10.1: オートローダーの表示名の変更

Gemini ユーティリティを使用して、オペレータ パネルに表示される名前を入力します。

重要: 表示名を変更しても、ネットワークかワークグループのシステム名を変更しません。ネットワークやワークグループ上のシステム名を変更するには、使用しているシステムのセットアップおよびインストールガイドか「*Rimage Advance Setup (Networking) Guide*」を参照してください。

1. [All Programs (すべてのプログラム)] > [Rimage] > [Utilities (ユーティリティ)] > [Gemini Utilities (Gemini ユーティリティ)] の順に選択します。
2. [Override Name (名前の変更)] チェックボックスをオンにします。
3. [Use Computer Name (コンピュータ名を使用)] チェックボックスをオフにします。
4. [Display Name (表示名)] フィールドに新しい名前を入力します。
5. [Set Params (パラメータを設定)] を選択し、名前を設定します。
6. 変更を有効化するためにコンピュータを再起動します。

10.2: 警報器の有効化

メディアがなくなったときやエラーが発生したときに警報が鳴る回数を変更できます。

1. Windows の [スタート] メニューで、[All Programs (すべてのプログラム)] > [Rimage] > [Utilities (ユーティリティ)] > [Gemini Utilities (Gemini ユーティリティ)] [すべてのプログラム] > [Rimage] > [ユーティリティ] > [Gemini ユーティリティ] の順に選択します。
2. [警報数] フィールドで、エラー発生時に鳴らす警報の回数を選択します。
3. [Set Params (パラメータを設定)] を選択し、警報数を設定します。
4. 変更を有効化するためにコンピュータを再起動します。

ヒント: 警報器を無効にするには、警報数をゼロに設定します。

印刷環境の設定

このセクションでは、印刷設定をセットアップするうえで必要な情報を提供します。これにより、Everest 400の設定をカスタマイズして、より高度な機能を使用できます。

重要: 特に明記のない限り、Windows のナビゲーションの説明は Windows 10 のパスを示しています。ほかのWindowsのバージョンでは異なる可能性があります。

11.1: [Printing Preferences (印刷設定)] にアクセスします

スタートメニューから印刷環境設定にアクセス

この方法を使用すると、印刷環境設定は保存され、初期設定で新規に作成するすべてのラベルに適用されます。

1. [Start (スタート)] > [Settings (設定)] > [Devices (デバイス)] > [Printers & Scanners (印刷機 & スキャナー)]を選択します。
2. 初期設定になっていない場合は、HID-0でRimage Everest 400を選択して、[Manage (管理)]ボタンをクリックしてください。
3. [Printer Preferences (印刷環境設定)]を選択します。

CD Designer ソフトウェアから [Printer Preferences (印刷環境設定)] にアクセス

この方法では、印刷設定はラベル ファイルと共に保存され、プリンタ ドライバ設定の代わりに使用されます。

1. CD Designer から目的のラベル ファイルを開きます。
2. [File (ファイル)] メニューで [Print (印刷)] を選択します。
3. デフォルトでない場合は[Name (名称)]ドロップダウンリストから、[HID-0の Rimage Everest 400 printer]を選択します。
4. [Document Properties (ドキュメント プロパティ)] ボタンを選択します。

ヒント: rimage.com/supportでカラー印刷の問題に対処するには、カラーマッチングのトラブルシューティングのドキュメントを参照してください。

11.2: リボンタイプ設定の変更

CMYリボンとモノクロリボンとの間で切り替える場合は、リボン設定を変更する必要があります。設定の変更方法:

1. [Printing Preferences (印刷設定)] にアクセスします。
2. [Main (メイン)] タブを選択します。
3. リボンのドロップダウンメニューから、インストールされているリボンタイプを選択します。
4. 変更を保存するには、[Apply (適用)]ボタンをクリックします。
5. OKボタンをクリックしてウィンドウを終了します。

重要:[Printing Preferences (印刷設定)]の[Main (メイン)]タブで、Rimageテクニカルサポート担当者からの指示がない限り、メディアタイプ、メディアサイズ、コピー、または向きの設定を変更しないでください。

11.3: 印刷品質設定の変更

ディスクラベルに1色、または1つの途切れない色の30%以上が含まれている場合、色の不一致を防ぐために、Print Quality (印刷品質)設定を[Photo (写真)]から[Graphics (グラフィックス)]に変更する必要がある場合があります。他のすべてのラベルについては、[Photo (写真)]設定が最良の結果を生成する可能性があります。

1. [Printing Preferences (印刷設定)] にアクセスします。
2. [Advanced (詳細設定)] タブを選択します。
3. [Photo (写真)]または[Graphics (グラフィックス)]のラジオボタンをクリックします。
4. 変更を保存するには、[Apply (適用)]ボタンをクリックします。
5. OKボタンをクリックしてウィンドウを終了します。

印刷可能範囲と印刷アライメント

12.1: 印刷範囲の設定

この機能は、標準の CD/DVD/ブルーレイ メディアに対する印刷可能エリアを調整するもので、外径と内径を設定することでディスク ラベルの印刷時にディスクの縁が重なるのを防ぐことができます。

ヒント: CD Designer ラベルファイル内に設定する印刷可能領域設定は、Windowsのプリンタとファックスの設定をオーバーライドします。

1. [Printing Preferences (印刷設定)] にアクセスします。(11 ページの説明を参照してください。)
2. [Advanced (詳細設定)] タブを選択します。
3. [Printable Area (印刷可能領域)] セクションの[Modify (変更)] ボタンを選択します
 - [Standard Area (標準エリア)] 設定のみを変更するには、[標準] ラジオ ボタンを選択します。
 - スタッキング リングが付いているディスクに印刷するときは、[Advanced (詳細設定)] のラジオ ボタンを選択して[Hub Area (ハブエリア)]測定にアクセスします。
 - 必要な[Unit (測定)]ラジオボタンを選択して、1mmと.0.1mmの測定単位の間で選択します。
4. [OK]を選択すると、[Printable Area Settings (印刷可能領域の設定)] ウィンドウが閉じます。
5. [Apply (適用)] をクリックして、選択した設定を保存します。
6. [OK] を選択して環境設定ウィンドウを閉じます。

12.2: 印刷の配置を調整

1. [Start (スタート)] > [Settings (設定)] > [Devices (デバイス)] > [Printers & Scanners (印刷機 & スキャナー)] を選択します。
2. 初期設定になっていない場合は、Rimage Everest 400を選択して、[Manage (管理)] ボタンをクリックしてください。
3. [Printer Preferences (印刷環境設定)] を選択します。
4. [Utility (ユーティリティ)] タブを選択します。
5. [Status Monitor... (状態モニタ)] ボタンを選択します。[Rimage Everest 400 Status Monitor (状態監視)] ウィンドウが開き、[Status (状態)] タブがアクティブになります。
6. 印刷位置と色濃度の設定を表示または変更、またはEverest 400 のプリンターの状態を表示するには、[Printer Information (プリンタ情報)] タブを選択します。

ヒント: [Status (状態)] タブ上に、印刷ジョブの進行状況、取り付けられた印刷リボンのタイプ、印刷可能枚数の推定値が表示されます。

ヒント: 色濃度の設定をいつどのように変更するかについては、カラーマッチングのトラブルシューティングに関するドキュメントを参照してください。

2450のメンテナンス

本セクションでは、2450 システム (統合 Everest 400 プリンタを含む) のメンテナンスについて説明します。

重要! 最適性能を発揮させるために、2450 プリンタの周囲を清潔な無埃環境に保ちます。

13.1: メンテナンスの重要性

予防メンテナンスを定期的に行うことにより、システムによる正常なディスク記録や美しいラベルプリントが実現できます。メンテナンスでは、システムをクリーニングします。

注意事項

⚠ 注記: 2450 の破損を防ぐために、メンテナンスの際は以下の点に注意してください。

- システムのどの部分にも、オイル、シリコン、他の潤滑剤を絶対に使用しないでください。
- システムの表面の清掃には、研磨剤が入っていない洗剤を使用してください。
- オートローダーに直接クリーナーを付けないでください。代わりに、糸くずの出ない布にクリーナーを付けます。

13.2: 予防メンテナンス スケジュール

以下は、保守タスク、それらを完了するために必要なツール、およびそれらに必要な頻度を表にしたものです。

タスク	ツール	頻度
オートローダーメンテナンス		
リフト アームのシャフトを拭きます。以下の部分に注意してください： <ul style="list-style-type: none"> • シャフトの基部 • リフト アームのすぐ上の部分 	糸くずの出ない布	毎週
以下の部分を含め、オートローダーの全表面を拭きます。 <ul style="list-style-type: none"> • 側面と上端 • ドア • 出力ビン • 回転トレイ • 基部 (先に回転トレイを取り外します) • リフト アームの上面 	糸くずの出ない布 研磨剤の入っていない万能クリーナー	毎週
システム側のエア フィルタをチェックして、必要であれば交換します。	該当なし	毎月
オートローダーの背面の開口部を点検します。必要であれば埃やごみを取り除きます。 回転トレイを取り外し、開口部から埃やごみを取り除きます。	掃除機	毎月
Everest 400 プリンターメンテナンス		
粘着ローラーのクリーニング14 ページのセクション「粘着ローラーとセンサーのクリーニング」を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> • スポンジ スワブ (Everest クリーニング キットに含まれています) • 99% のイソプロピル アルコール 	ディスク 2000 枚印刷後または毎日ボン交換時
センサーのクリーニング。14 ページのセクション「粘着ローラーとセンサーのクリーニング」を参照してください。	<ul style="list-style-type: none"> • スポンジ スワブ (Everest クリーニング キットに含まれています) • 99% のイソプロピル アルコール 	印刷リボンが検出できません。上もしくは下のセンサーが反応していないか、ラベルがセンサーにありません

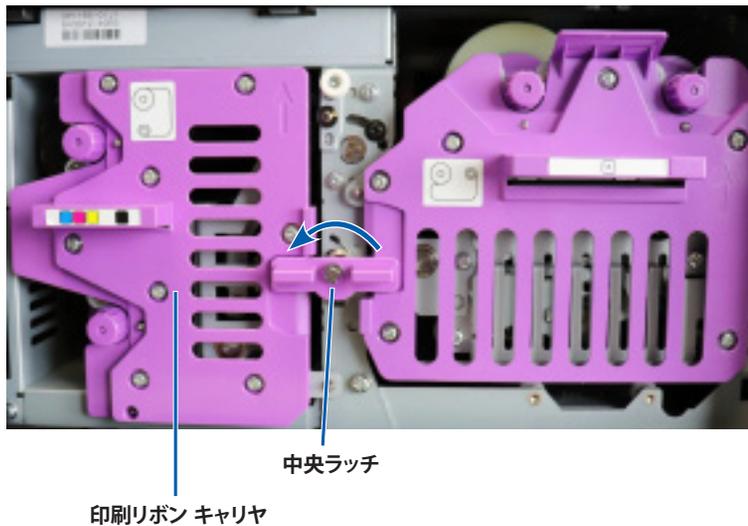
粘着ローラークリーニング

14.1: 粘着ローラー1 クリーニング

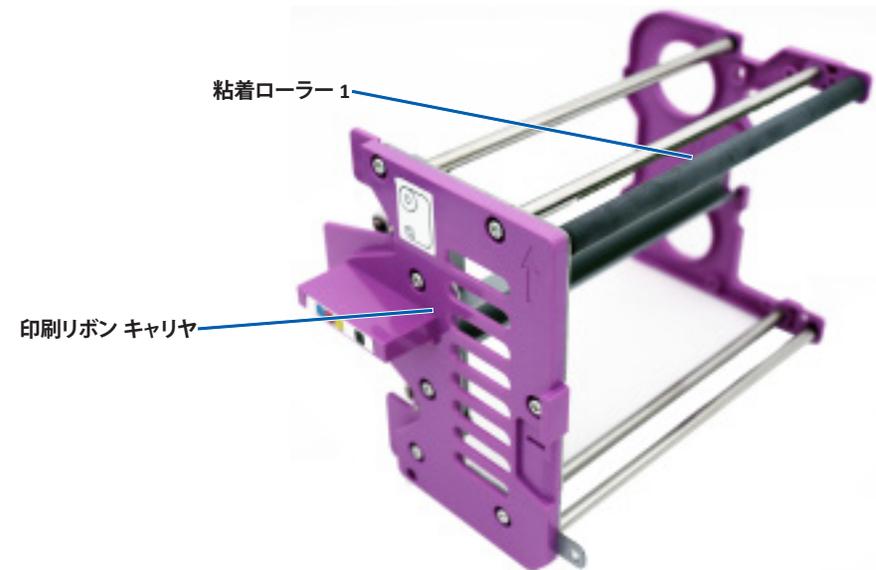
定期的に粘着ローラーのクリーニングでEverest 400プリンターを適切な作業状態に維持します。

✳ 必要な工具

- 長い柄つきのスポンジ スwab (Everest クリーニング キットに含まれています)
 - 99% のイソプロピル アルコール
1. システムの電源がオフになり、アクティブな状態にないか、生産ジョブを保留していないことを確認してください。
 2. 印刷リボン キャリヤと印刷リボンを取り外します。この方法の詳細な手順については、プリンターカバーの内側の『印刷リボンの交換』を参照してください。



3. 粘着ローラー 1 (印刷リボン キャリヤ上) をクリーニングします。
 - a. スポンジ スwabとSwab ハンドルを Everest クリーニング キットから取り出します。
 - b. 必要に応じてスポンジ スwabをSwab用ハンドルのノッチ (切り込み) の無い方の端に挿入します。
 - c. イソプロピル アルコールをスポンジ スwabに塗布します。
 - d. スポンジ スwabを使用して粘着ローラー 1 を清掃します。



4. 粘着ローラー 2のクリーニング方法のインストラクションは15ページを参照してください。

粘着ローラークリーニング (続き)

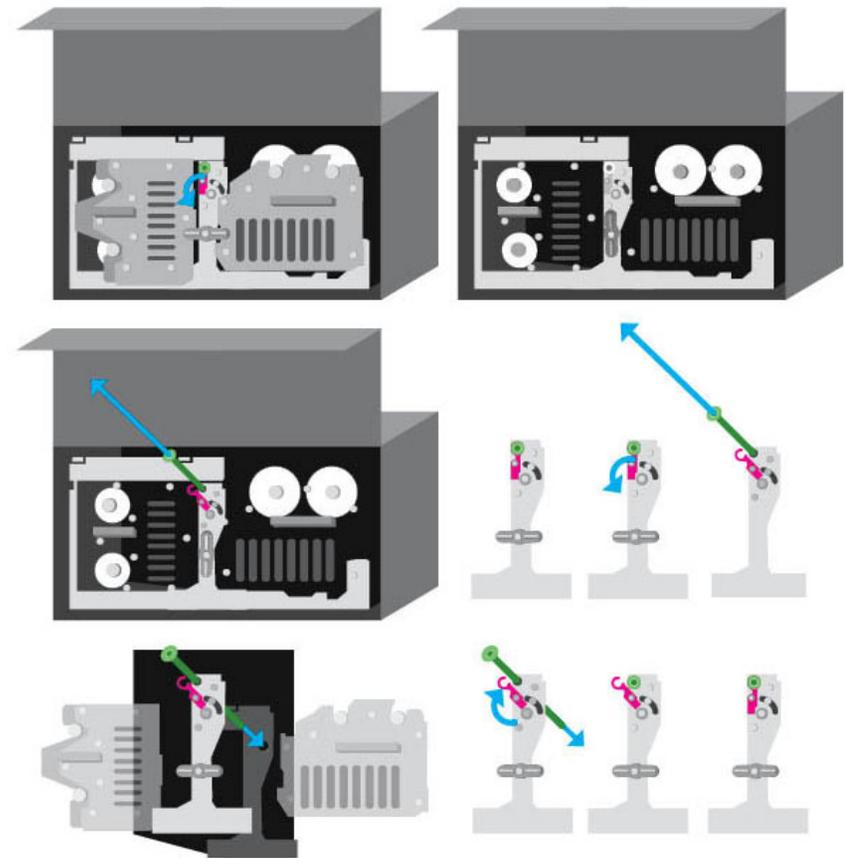
15.1: 粘着ローラー 2 のクリーニング

重要: インストラクションにまだ従っていない場合、粘着ローラー 2 をクリーニングする準備をするには14ページのステップ1と2に従ってください。

1. 粘着ローラー2 を取り外します:
 - a. 蝶ネジを時計回りに三回、回します。
 - b. エンドピースを外側に向かって左に押し、センターブラケットから外します。
 - c. エンドピースをつかんで、粘着ローラー2全体をプリンターから引き出します。



2. 粘着ローラー2 のクリーニング:
 - a. スポンジ スwabとスワブ ハンドルを Everest クリーニング キットから取り出します。
 - b. 必要に応じてスポンジ スwabをスワブ用ハンドルのノッチ (切り込み) の無い方の端に挿入します。
 - c. イソプロピル アルコールをスポンジ スwabに塗布します。
 - d. スポンジ スwabを使用して粘着ローラー2 を清掃します。
3. 粘着ローラー2 の再装着:
 - a. 粘着ローラーの端を持ち、粘着ローラーのもう一方の端をプリンターエンクロージャーの背面にある白いプラスチック製のサポートトレイが付いている穴に挿入します。
 - b. エンドピースを蝶ネジの内側に引っ掛けて、センターブラケットと面一になるようにエンドピースを配置します。
 - c. エンドピースがしっかり締まるまで、蝶ネジをしめます。



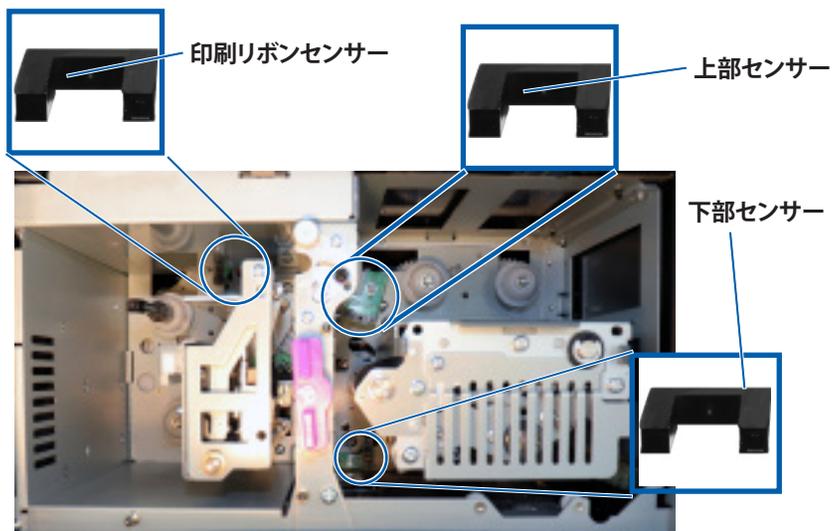
センサーのクリーニング

16.1: センサーのクリーニング

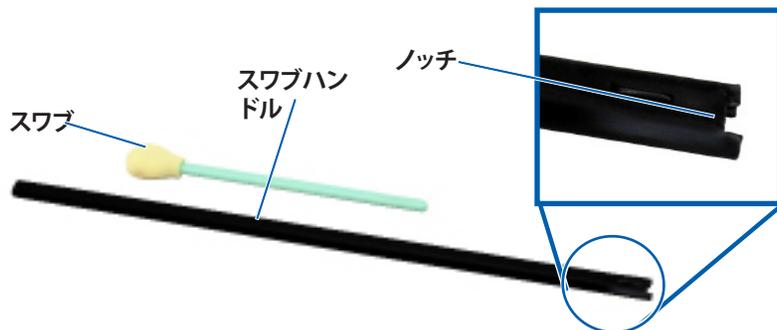
※ 必要な工具

・ 圧縮空気缶

1. システムの電源がオフになり、アクティブな状態にないか、生産ジョブを保留していないことを確認してください。
2. 印刷リボン キャリヤと印刷リボンを取り外します。詳細な手順については、プリンターカバーの内側の『印刷リボンの交換』を参照してください。



ヒント: ハンドルの一方の端には、端の近くにノッチ (V字型切込み) があります。これがプリンタに入る終端部です。(以下を参照してください。)



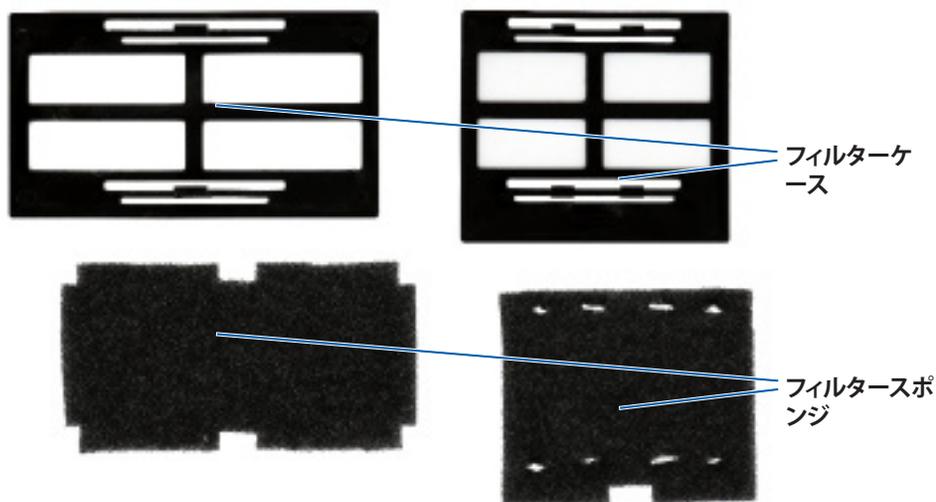
3. Everest クリーニング キットからスワブとハンドルを取り出します。
4. 必要であれば、ハンドルからスポンジ スワブを取り外します。
5. プリントリボンセンサーでハンドルの穴がある端の位置を決めます。左側にある図でセンサーの位置を確認してください。
6. ノッチ (V字型切込み) のないスワブ用ハンドルの先に圧縮空気缶のノズルを差し込みます。
7. 圧縮空気を 1~2 秒間、三回ほどハンドルの端に吹き付けます。
8. 上と下のセンサーで5-8の手順を繰り返します。



フィルターメンテナンス

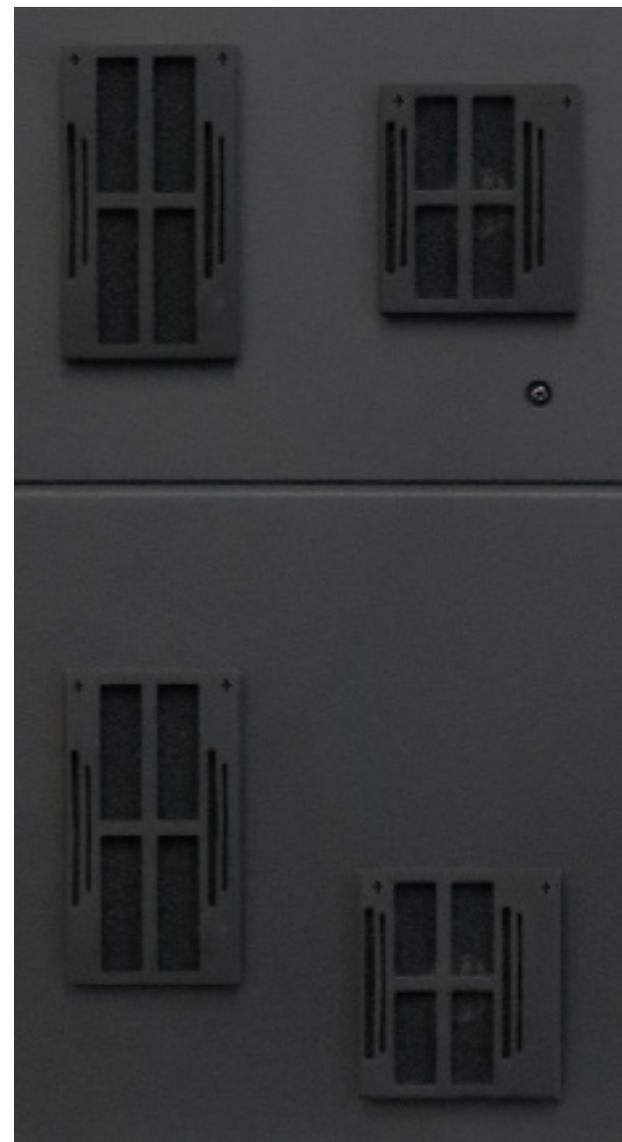
17.1: フィルターのクリーニング

埃が積もった状態になっていたら、フィルターは水で洗う必要があります。これにはこれらステップに従います:



1. フィルターケースの長い方の端を押し込んで、外に引っ張って取り除きます。
2. フィルターケースからフィルタースポンジを取り外します。
3. 各スポンジの両面を、水道水で水が透明になるまで洗います。
4. スポンジのメッシュに水滴が見えなくなるまで、静かに水を吹き出します。材料が伸びたり裂けたりしないように注意してください。
5. スポンジをフィルターケースに戻します。
6. フィルターがケースの通気口にしっかりと固定されるまで、フィルターホルダーの長い端を再度押してフィルターを再度取り付けます。正しい配置については、右の画像を参照してください。

ヒント: フィルターが摩耗または損傷した場合は、Rimageサポートに交換を依頼してください。



連絡先情報

本セクションでは、特にProfessional 2450 に関し、サポートのための問い合わせ先および注意や警告、製品仕様について説明します。

本製品に関する技術的仕様は、rimage.com/support を参照ください。

18.1: サポート連絡先

米国、カナダ、南米	
Rimage Corporation 201 General Mills Boulevard North Golden Valley, Minnesota 55439 USA Attn: Rimage Services	電子メール: support@rimage.com 電話: 北アメリカ: 800-553-8312 メキシコ/ラテンアメリカ: 952-944-8144
ヨーロッパ	
Rimage Europe GmbH Wernher-von-Braun Straße 9 63303 Dreieich-Offenthal, GERMANY	電子メール: support@rimage.de 電話: +49 (0)6074.8521.0
Asia/Paci i	
リマージュジャパン株式会社 〒105-0013東京都 港区浜松町2丁目7-1 第38荒井ビル4階	電子メール: apsupport@rimage.co.jp 電話: +81.3.6452.8780

Rimage Services 連絡先:	
ウェブサイト: www.rimage.com を参照してください。	
Rimage サービスにお問い合わせになる際は、以下の情報をご用意ください。 <ul style="list-style-type: none">システムのシリアル番号とソフトウェアのバージョン問題における、機能面および技術面での説明表示された正確なエラー メッセージ	将来参照するために Rimage 製品に記載された次の情報を書き留めておいてください。 注記: 製品を交換した場合は、必ずシリアル番号を更新してください。
	シリアル番号:
	製品名:
	ご購入日:

18.2: オンラインによるサービス

rimage.com/support で、Rimage のワールド クラスのサポートおよびサービスを受けることができます。

[Support (サポート)] ページから、 <ol style="list-style-type: none">ご使用の製品シリーズを選択します。ご使用の製品を選択します。製品ページで詳細をご覧ください。	製品ページから、以下の情報にアクセスすることができます。 <ul style="list-style-type: none">ソフトウェアおよびファームウェアの最新情報製品仕様書最新ドキュメント最新のファームウェアおよびドライバのダウンロード
--	--

18.3: テクニカル サポート

Rimage では、迅速な交換、ソフトウェア サブスクリプションおよびサポートなど地域によって異なるサービスおよびサポート オプションを提供しています。詳細情報および価格については、Rimage の付加価値再販業者や Rimage 社までお尋ねください。

18.4: 光ディスク記録ソフトウェアの免責条項

本製品、ソフトウェアおよび説明書は、著作権の所有者もしくは著作権者から書面によるコピーの許可を受けている場合、複製することができます。使用者が著作権を所有する、もしくは、著作権者から複製の許可を取得していない限り、使用者には、著作権法違反ならびに損害賠償および他の賠償の支払いが課せられる恐れがあります。ご自身の権利に関して不明確な場合は、法律の専門家にご相談ください。使用者が著作権を所有せず、また著作権所有者からの許可も得ていない場合、光ディスク、その他のメディア上の著作権のあるマテリアルを無断で複製することは国内および国際上の法令を侵害することになり、厳しい処罰が科せられることとなります。

注意と警告

安全性および法令順守に関する情報

本マニュアルおよび製品に関する指示により、適切で安全な操作が可能になります。以下の表示マークは、ユーザーならびに他の人の身体的傷害および機器損傷の防止を支援します。

安全のための予防措置

安全の確保のため、以下の注意事項をよくお読みになり、内容をご理解された上で機器をご使用ください。

警告!

- CD/DVD/BD レコーダーのレーザービームには、クラス 1 レーザーが使用されています。レコーダーを開けないでください。すべてのサービス処置は、担当の技術者が行うようにしてください。
- 本書に規定されている以外の方法で、制御または調整機能を使用したり、処置を実施したりすると、有害な放射露光が生じる恐れがあります。
- 本機と光学機器を併用しないでください。併用すると、目を損傷する危険性が大幅に増加します。
- プリンタを分解したり、工具を使用しないでください。サービス手順は必ず Rimage が承認した技術者、または Rimage が派遣した修理担当者が行います。
- プリンタ内部には鋭いエッジがあります。
- ヘッドローラーに手を触れないでください。
- 回路基板に手を触れないでください。静電気により回路基板が損傷を受ける場合があります。
- オートローダーをオフにしない限り、バックパネルを外さないでください。
- 法令順守に責任を負う関係者が明確に承認しない変更や改変を行うと、ユーザーが機器を操作する権限が無効になります。
- このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと同じ場所に配置したり、操作したりしないでください。
- 本機は、FCC が無制御環境に対して規定した、放射線露光量制限に基づいたものであり、OET65 に対する補足 C にある、FCC の無線周波数 (RF) 露光量ガイドラインの要件を満たしています。この装置の RF エネルギーは非常に低く、最大許容暴露評価 (MPE) がなくても準拠すると見なされます。ただし、ラジエーターを人の体から少なくとも 20cm 以上離して設置および操作することが望ましいでしょう (四肢を除く: 手、手首、足、足首)。
- 動作中、レコーダーの近くに手を置かないでください。静電放電により、ディスクが不良となることがあります。

注意

- 火災の危険に対する継続的な保護のために、交換するヒューズは、同一の種類および定格のものだけにしてください。すべてのサービス処置は、担当の技術者が行うようにしてください。
- 同梱の交流電源コードのみ、または、標準規格の電源コードをご使用ください。北米以外でご利用になる場合、各地域の標準規格電源コードの選択においてサポートが必要な場合は、最寄の Rimage にお問い合わせください。
- 本製品はオフィス用機器として設計されています。
- Professional 2450 ではリチウム電池を使用しています。リチウム電池を不適当な電池と交換すると爆発する危険があります。古い電池は電池のパッケージに記載された製造業者の指示に従って廃棄してください。
- スイッチ、電源、ヒューズ、ファン、非ステップモーターのような AC 電源電圧または低 DC 電圧が必要な全ての機器は、Rimage が承認するコンポーネントと交換して、UL が発行する安全認証を維持しなければなりません。
- プリンタトレイを開くために、十分な空間を確保してください。プリンタトレイが作動中に手を触れないでください。
- 電源が入っている場合にサイドカバーを開けると、プリンタは停止します。プリンタが作動中に、内部に手を入れないでください。ドアのインターロックをバイパスしないでください。

国特有の注意と警告

広帯域データ通信システム用の各国における注意および警告; 13.56 MHz



警告!

- 本装置は、カナダ産業省の RSS 規制に適合しています。操作は以下の2つの条件の対象となります: (1) 本製品が混信の要因とならないこと、および(2) 本製品が機器の操作に支障をきたすような混信を含めて、あらゆる混信を受信可能であること。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes : (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'encompromettre le fonctionnement.

- 本機は、ICが無制御環境に対して規定した、放射線露光量制限に基づいたものであり、IC無線周波数 (RF) 露光量規制のRSS-102を満たしています。この装置のRFエネルギーは非常に低く、最大許容暴露評価(MPE)がなくても準拠すると見なされます。ただし、ラジエーターを人の体から少なくとも20cm以上離して設置および操作することが望ましいでしょう(四肢を除く:手、手首、足、足首)。

Cet équipement est conforme aux limites d'exposition aux rayonnements énoncées pour un environnement non contrôlé et respecte les règles d'exposition aux fréquences radioélectriques (RF) CNR-102 de l'IC. Cet équipement émet une énergie RF très faible qui est considérée conforme sans évaluation de l'exposition maximale autorisée. Cependant, cet équipement doit être installé et utilisé en gardant une distance de 20 cm ou plus entre le dispositif rayonnant et le corps (à l'exception des extrémités : mains, poignets, pieds et chevilles).

- 韓国: 해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다 A급 기기 (업무용 방송통신기자재) 이 기기는 업무용 (A급) 전자파적합기기로서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기 바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목적으로 합니다.

- 台湾: 低出力ラジオのタイプの認定を受けると、企業、会社またはユーザーは適切な認可なしで、周波数の変更、出力の増加、当初の設計の特徴や機能を変更することは許可されません。低電力無線電気機器の使用は、飛行の安全性に影響を与えたり、正当な通信を妨害したりすることのないようにしましょう。干渉が検出された場合、機器は直ちに無効にする必要があり、干渉がなくなるように改善されるまで、その機器を再び使用することはできません。正当な通信とは、無線通信の電気通信法の規定に準拠した運用を指します。低電力無線通信は、正当な通信の電気機器および産業、科学、医療の無線放射の無線干渉に耐えることができなければなりません。

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應立即停用，並改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

- 中国:
 - 使用频率: 13.56MHz
 - 等效全向辐射功率 (EIRP) $\leq 10\text{mW}$
 - 频率容限: $\pm 75\text{kHz}$
- 不得擅自更改发射频率、加大发射功率(包括额外加装射频功率放大器)，不得擅自外接天线或改用其它发射天线；
- 使用时不得对各种合法的无线电通信业务产生有害干扰；一旦发现干扰现象时，应立即停止使用，并采取措施消除干扰后方可继续使用；
- 使用微功率无线电设备，必须忍受各种无线电业务的干扰或工业、科学及医疗应用设备的辐射干扰；
- 不得在飞机和机场附近使用。



注意

- フランス: 戸外で使用しないでください。
- イタリア: 戸外での使用を前提とする場合は、一般的な認可が必要です。
- ノルウェー: 本件は NY-Alesund の中心から半径 20km 以内の場所には適用されません。

コンプライアンス情報

製品	Professional 2450	
モデル	RAS36	
米国における注意	<p>NOTE: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when this equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.</p> <p>This product complies with UL 60950-1.</p>	
カナダにおける注意	<p>This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003 Issue 6: 2016. Cet appareil numerique de la classe A est conforme a la norme NMB-003 du Canada.</p> <p>This product complies with CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1.</p>	
ヨーロッパにおける注意	<p>This product is in conformity with the EMC Directive (2014/30/EU) and the Low-Voltage Directive (2014/35/EU) through compliance with the following European standards: EN 55032 Class A Limit; EN 55024; EN 61000-3-2; EN 61000-3-3; EN 60950-1. The CE mark has been affixed in accordance with the CE Marking Directive 93/68/EEC.</p>	
日本における注意	<p>This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference by Information Technology Equipment (VCCI-A). If this equipment is used in a domestic environment, radio interference may occur, in which case, the user may be required to take corrective action.</p>	<p>Translation: この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。VCCI-A</p>
オーストラリアにおける注意	<p>This product complies with AS/NZS CISPR 32: 2013.</p>	
韓国における注意	<p>It is certified that foregoing equipment has been certificated under the Framework Act on Telecommunications and Radio Waves Act.</p> <p>Translation: 위 기기는 전기통신기본법, 전파법 에 따라 인증되었음을 증명 합니다. B급 기기 (가정용 정보통신기기): 이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.</p>	
台湾における注意	<p>This is class A digital device. It may cause radio-frequency interference when used in a residential area. In this case, the users are advised to take appropriate precautions.</p> <p>Translation: 這是甲類的資訊產品,在居住的環境中使用時,可能會造成射頻干擾,在這種情況下,使用者會被要求採取某些適當的對策。</p>	